

神奈川県作業療法士会平成16年度第6回理事会議事録

日 時：平成17年1月18日 18:50～21:30	場 所：神奈川県OT士会事務所
参加者：長谷川会長 清水副会長 鶴見副会長 錠内 鈴木 浅海 田中(節)大竹 黒木 田中(秀)三川 松本 理事外：作田 池田 澤口 岩野 山田 庭田	
議 題	内 容
1. 長谷川会長挨拶 2. 事務局報告 (錠内)	第1号議案 平成16年度事業報告に関して 資料説明 今年度の活動・第24回総会の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・三役会、理事会の開催 ・公文書発行 ・ホームページの運営 の事業計画：従来どおりの内容で行う。
3. 情報統計部報告 (大竹)	第1号議案 平成16年度事業報告に関して 資料説明 今年度の活動・会員名簿の整備及び管理 年度途中より北里から事務局へ移行した。 <ul style="list-style-type: none"> ・会員の実態調査の実施 各施設に郵送し、1/11 集計作業実施。現在の回収率 53% ・県士会として必要とされる数値情報の整備検討 県士会内外のラベル作成と発送。 ・県士会活動内容のデータベース化 都道府県連絡協議会提出用として協会本部と年一回実施している。 来年度の事業計画：従来どおりの内容にて行う。 大竹：会員名簿の整備及び管理に関しては事務局へ移行をする。7月以降は財務と情報統計のデータを一本化した。会費の納入状況を確認できるため。 清水：11月末までに会費を納めた人に関してはデータベースの一本化しており、照らし合わせ済み。 錠内：事務局へはどのように移行するのか？ 大竹：実態調査に関しては来年度も引き続き情報統計部にて行う。 清水：会費納入チェックに関しては事務局で行わないと混乱する。
4. 学術部報告 (三川)	第1号議案 平成16年度事業報告に関して 資料説明 今年度の活動・分野別研修 <ul style="list-style-type: none"> ・新人プログラム ・生涯教育分野 ・生涯教育講座(手帳移行手続き) 三川：現在までの手帳移行率、15～20%。1/23 横浜YMCAにて移行手続きを行う。現在10通/週三川に届いている。結果的に5～6割程度

になるのではないかと思います。

鶴見：協会にて問題になっている。移行手続き期間を遅らせることも出ている。

来年度の事業計画・新人プログラムの実施

- ・生涯教育講座の実施
- ・現職者研修の企画 予算立てを行う。

生涯教育講座の充実・会員への周知

生涯教育基礎コースポイント認定団体について 資料説明

三川：書面にて三浦半島作業療法研究会より認定に関する依頼がありました。協会に承認依頼をしたところ、県士会に任せているとの返答。会則・会員及び役員名簿を準備した団体については審査の対象になるのではないのでしょうか。検討をお願いします。

浅海：協会の基準は？

三川：20名以上の団体で、会員役員名簿があり、会則があり、広報活動をしている団体が基準です。

浅海：協会の基準に加えて、定期的に活動をしているのか？活動の実績がある期間（例えば1年とか）あるということが必要になるのではないか？

三川：現在2～3団体が申請中。

錠内：一つ一つ理事会で検討するか、全て認定しないか

鶴見：協会としては基本方針を決めず、県士会に任せる方針。県士会の信頼性に任せるということでしょう。県士会員に認定基準に関してニュースにて広報することが必要でしょう。

会長：理事会が認定して初めてポイントとなる

浅海：本来、学術団体はポイントのための団体ではなく、ポイントは結果的についてくるものであるべき性格のものであろう。

会長：三浦の団体は平成16年8月より現在まで4回開催している。実績を明記して再度提出をしてもらい、2月の理事会にて承認すればよいのではないか。

浅海：6ヶ月で4回も開催しているなら、1年の活動実績はあるはず。一年の活動実績で、一回以上の開催ならば認定してもよいのでは。

鶴見：全国に出すものだから、規約があった方がよい。団体の会員に認定OTが居なくてもいいのか？将来的には言ってくるかもしれない。

錠内：認定する団体の基準をチラシにて広報する。ホームページにも掲示する。2/10付けで。

5. 法人化対策委員会 (鈴木)

平成16年度事業報告に関して

鈴木：総務省サイト資料を基に来年度の事業を決めたい。

資料説明

錠内：事務所で、事務員確保でき、ばらばらだった管理や担当等を集約している状況。もう少し時間をおいてからの方が。今の事務所体制が確立されてからの方が。

鈴木：中間・NPO法人もこの制度に組み込まれるため、今のうちに

	<p>浅海：制度が変更しようがどちらにしろ必要に求められる基盤作りをゆっくりにした方がよいのでは？</p> <p>錠内：現在法人取得していないので、個人名義を使わざるを得ない。事務所は会長名義、財務は錠内名義。現在は良いが後々困ることとなる。</p> <p>清水：平成 17 年秋には制度が明確になるから、そこまで待ち検討してみてもどうか？</p> <p>会長：一年様子を見て制度が変わった時点にて進めればどうか。</p> <p>鈴木：基本財産がどのくらいあるかが今まではネックであったところが多いが、そこを改正後はどの程度重視するか？</p> <p>会長：公益法人を目指すべき。どのようにお金を公益的に使うのか？それなりの予算や体制・運営を用意しておかなければならない。</p> <p>鈴木：意見を頂いたため、早急に 17 年度の活動計画を明記します。</p>
<p>6 . 福利部報告 (田中)</p>	<p>第 1 号議案 平成 16 年度事業報告に関して 資料説明 今年度活動報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新入会員オリエンテーション及び歓迎懇親会 ・ 求人求職の登録及び情報提供 求人求職 Web システム利用件数は一名が何回も利用したのものも含めた件数が 27 件。 ・ 神奈川県作業療法士会懇談会開催 来年度活動計画：今年度同様に加え、表彰委員会を福利部に増設。 <p>田中：歓迎会を開催する人と表彰に関わる人に分かれて活動をしていきたい。</p> <p>錠内：二年自分が活動をしてきたが、表彰に該当する人はいるが表彰できていないため、必要になる部だと思えます。</p> <p>田中：業務内容はこれでよいのか？</p> <p>錠内：データベースを作成しないと分からない面もある。ブロック毎のものとか在勤の年数とかが必要となるので。</p> <p>会長：設立 40 周年記念行事が 10/28 ホテルニューオオタニであった。厚生労働大臣表彰は本部推薦と士会推薦がある。その仕事も入ってくる。</p> <p>浅海：どのような表彰があるのかまずは調べるのが大切になるのでは。</p> <p>収支報告 来年度活動予算案：表彰委員会増設のため、¥30,000 増額。</p> <p>錠内：事務所開きを今年度中に行いたい。第一候補は 3/5 (土) 夕方から事務所を見学してもらい、事務所近辺にて事務所開きを実施したい。補正予算にて福利部に行ってほしい。外部より内部中心にした方がいいと思えます。人選や規模に関しては会長と相談を。</p>
<p>7 . 福祉用具検討委員会 (黒木)</p>	<p>第 1 号議案 平成 16 年度事業報告に関して 資料説明 今年度活動報告 来年度事業計画：現状の内容どおりにて実施。</p> <p>黒木：部員 5 名は継続していただけるが、委員長は浅井先生に適任な方を</p>

<p>8. 地域リハビリテーション対策部（浅海）</p>	<p>探していただいている。</p> <p>資料説明 今年度活動報告・第三回訪問OT研修会 ・第12回神奈川県PTOT地域ケアネットワーク合同研究会 来年度事業計画・継続して研修会・合同研究会を実施する。 ・介護予防事業について 研修会や講習会の形が良いのか、実態調査がよいのか？ 浅海：地域リハビリテーション部の位置づけ・役割の再確認をすることが必要だと思います。別のくくりがあったほうが企画もしやすい。分野や名前の変更が必要か？ 錠内：実務としてやってきている浅海先生の方で変えてもかまわないのでは？ 会長：具体的な提案をして、理事会承認でいいと思います。 清水：これまでの対象は？高齢期？ 浅海：気にはなっていたが、高齢期メインになってしまっているのは残念に思っています。 鶴見：3障害統一になるため、地域という言葉大切。今後をにらみながら企画調整をしていくことがよいのでは。 清水：地域企画室のようなものを置いて、地域やOTを広げること、他職種との連携必要。 会長：今後はこういうことをやっていかなきゃならないということを見据えてやっていかなければならない。 浅海：構造が変わるのであれば、変更をしなければならない。</p>
<p>9. 広報部報告（松本、岩野）</p>	<p>資料説明 平成16年度事業報告 来年度の事業計画 議案書の締め切り1/28 事務局メール宛 神奈川県作業療法士会案内パンフレットについて</p> <p>資料説明 岩野：推進月間より使用したい 浅海：掲載する分野の名前に関しては、協会のパンフレットを参考に載せてはどうか。 年 月付けにて何人のOTRがいるのかを付け加えて載せた方がいいのでは。</p> <p>決定事項 1) カラーや紙質を再度考えて作成 2) 公益性を重視した内容を事業内容に載せる。 (定款の事業内容を参考にする) 3) 作業療法士の仕事に関する案内は、医療専門技術者で、医療保健全般に携わる者です。という言い方に変更。</p> <p>承認 委任状ははがきサイズで原稿を作成し、福島印刷に印刷を依頼する。 (900枚 ¥16000)</p>
<p>10. 9 . Web（作田）</p>	<p>協会本部より、モデル士会募集の案内あり。(OT協会の管理システムを土</p>

	<p>会でも閲覧できるようにするもので、平成17年は10士会までとなる)</p> <p>利点：協会員で、士会に入会していない人の人数が分かる 協会入会と士会入会が連動して出来る 専用回線の接続料やPCは協会にて負担してくれるため、コストが回線使用料¥2000/月のみ</p> <p>問題点：専用回線を接続するにあたり、ビルが耐えられるか 定期的(1回/週)に情報を更新しなければならない 責任者が必要になる</p> <p>決定事項：応募していく方向とする。</p> <p>11.その他</p> <p>企画調整委員会に関して(錠内) 役選に関して、来年度理事が一人欠員のため、早急に対応する。 今後に関しては、理事会推薦ではなく、立候補の形にしたい。 県学会準備委員会(清水) 1/22に準備委員会あり。本日の時点では一般演題0件。FAXでの応募も可能とする。 ニュースに募集要項を載せることとする。 医療専門職委員会(長谷川) 11/5 10周年記念学術会あり。3/3理事会あり。長谷川出席予定 次回理事会：2/15</p> <p>12. 副会長挨拶 (鶴見)</p>
--	--

報告者(書記): 庭田夢香、錠内